

第 14 回港湾分科会における主な意見

1. 性能規定化について

- ① 要求性能に、環境性などの項目も加えるべき。
- ② 国が自ら整備し評価するよりも、第三者機関による評価に委ねるほうが適切。

2. 維持管理について

- ① 港湾管理者が国有財産を維持管理する場合の財源は、地方交付税を含めた議論が必要。
- ② すべての施設を同じように維持管理するのではなく、施設の重要度に応じたライフサイクルを考えるべき。
- ③ 国が整備したものの維持管理は国が行うのが自然。技術基準を性能仕様化するとなおさら、整備主体に維持管理をゆだねた方が費用逡減等が容易となるはず。
- ④ 設計段階で維持管理を考慮した設計とすべき。
- ⑤ 適切な維持管理を行っていくためには、適切な技術の伝承が重要。技術の伝承主体として適切な体制の整備を検討すべき。
- ⑥ 維持管理費用を負担する者と維持管理を実施する者は必ずしも同一ではない。技術の伝承主体が適切に維持管理にあたるような制度設計が必要。